

# 平成 25 年度各地区協会活動状況報告

東海北陸地区（名古屋大学）

## 1. 国立大学関係

### (1) 第 60 回国立大学図書館協会総会

平成 25 年 6 月 20 日（木）名古屋大学附属図書館を当番館としてキャッスルプラザにおいて開催され、当番館以外の会員館から各 1 名を派遣していただき、総会の運営にあたった。

### (2) 東海北陸地区国立大学図書館長懇談会

平成 26 年 2 月 14 日（金）名古屋大学グリーンサロン東山ミーティングルームにおいて開催され、東海北陸地区大学間学術資源活用事業（仮称）、電子ジャーナル等について広く意見交換を行った。

また、懇談会に先立ち、学習支援ライブラリアンコンテストの表彰式を行った。

### (3) 東海北陸地区国立大学図書館協会事務連絡会

平成 26 年 1 月 20 日（月）名古屋大学グリーンサロン東山ミーティングルームにおいて開催され、平成 26 年度地区事業について、東海地区大学図書館協議会研修企画小委員会への参加について、平成 27 年度以降の電子ジャーナル契約について、東海北陸地区大学間学術資源活用事業（仮称）について、平成 26 年度の図書系専門試験の実施体制について及び国立大学図書館協会総会の開催について協議を行うとともに、国立大学図書館協会理事会、国公立大学図書館協力委員会の活動等について報告が行われた。

### (4) 東海北陸地区国立大学図書館協会総会

平成 26 年 4 月 25 日（金）金沢大学附属図書館を当番館として開催され、会長館の選出に続いて、第 61 回国立大学図書館協会総会に向けた準備事項（平成 26 年度地区選出の理事館、研究集会以扱うテーマ、平成 25 年度地区協会活動状況報告）、地区事業の開催等について協議した。

### (5) フレッシュパーソンセミナー

東海地区大学図書館協議会基礎研修を当協会フレッシュパーソンセミナーと兼ねて開催した。概要は 2. (2) ①に記載。

### (6) 学習支援ライブラリアンコンテスト

図書館職員の「学習支援力」向上を図るとともに、各大学での講習会等での工夫、試みを共有し活用することを目的とした学習支援ライブラリアンコンテストを平成 25 年 10 月 7 日（月）から 11 月 8 日（金）までを募集期間として実施し、4 件の応募があった。会員館館長による審査の結果、最優秀賞 2 件（金沢大学、名古屋大学）、優秀賞 2 件（岐阜大学、名古屋工業大学）を選考し、平成 26 年 2 月 14 日（金）に開催された東海北陸地区国立大学図書館長懇談会の席上で表彰式を行った。

## 2. 国公立大学関係

### (1) 東海地区大学図書館協議会第 67 回総会・研究集会

平成 25 年 8 月 9 日（金）静岡大学において開催され、午前中は平成 24 年度事業報告、決算報告、平成 25 年度事業計画案、予算案等についての協議、国公立の各大学図書館活動状況の報告及び永年勤続者の表彰が行われた。

午後は、下記の研究集会が開催された。

テーマ：「大学図書館の外に学ぶ」

講演：「学校図書館の動向 その課題と成功例から大学図書館が学ぶもの」

(静岡大学大学院教育学研究科教授 村山 功氏)

講演：「「大災害に備える」静岡県教育委員会の取り組み：静岡県文化財等救済ネットワークを中心に」

(静岡県教育委員会文化財保護課指導主事 鈴木 正悟氏)

## (2) 研修会

### ①東海地区大学図書館協議会研修会 「図書館職員基礎研修」

(東海北陸地区国立大学図書館協会フレッシュパーソンセミナーを兼ねる)

日 時：平成25年12月13日(金)

場 所：名古屋大学豊田講堂第1会議室

参加者：35機関59名

### ②東海地区大学図書館協議会研修会

日 時：平成26年3月3日(月)

場 所：名古屋経済大学名駅サテライトキャンパス

参加者：20機関60名

テーマ：「西洋古典資料の整理・保存について」

講 演：「歴史的製本の修理について」

(製本家、アトリエ・ド・クレ主宰 岡本 幸治氏)

講 演：「洋書の扉」

(元跡見学園女子大学教授 高野 彰氏)